

# 特集・デイご利用者の創作活動

## 昼食後から午後の体操が始まるまでの 1 時間半

デイサービス響では、昼食後から午後の体操が始まるまでの 1 時間半の時間を活用して、さまざまな創作活動に取り組んでいます。創作活動の中でも一番の大作となったのが、デイフロアの壁一面に飾られた「ひびき水族館」。縦2m、横4mにもなる壁飾りには、色紙でつくられた色とりどりの熱帯魚やクラゲ、タコ、ウミガメなどがまるで水中を泳いでいるかのように飾られています。

まるで水族館

涼を呼ぶ風鈴

たまや～かぎや～

# フロアはすっかり夏模様

# ひびき通信

平成 29 年 8 月版



デイフロアの天井には、プラスチックのコップでつくった風鈴が飾られています。ご利用者たちが一つひとつ手づくりで仕上げた風鈴は全部で60個。エアコンの風に揺れながらキラキラと光る風鈴が涼を演出しています。デイサービスの入口や通路の壁には、花火の絵が飾られ、夏の気分を盛り上げています。

# 絵手紙やパステルアートにも挑戦



素敵な作品が完成しました

ご利用者たちの創作活動は、夏飾りだけではなくありません。パステルシャインアートやミニふくろうのぬいぐるみ、さらにちぎり絵でつくる絵手紙など、おしゃやかな作品にも挑戦しています。パステルアートは、淡い黄色や青や緑などのパステルをカッターで削り粉状にしたものを、コットンを使って絵を描きます。ご利用者たちは、見本を見ながら、淡い色合いや輝きを描くなど、素敵な作品を完成させていました。

針と糸を使って作るミニふくろうのぬいぐるみ。ご利用者たちは、久しぶりに手にした針を上手に使いながら、3cmほどの小さなふくろうを仕上げました。

和紙をちぎって貼り合わせてつくる絵手紙では、朝顔や金魚の姿を上手に表現するなど、ご利用者たちは、なかなかの出来栄に笑顔になっていました。

グループホームで運営推進会議 「熱が出たらどうする」をテーマ意見交換  
グループホーム響で運営推進会議が行われました。会議には、ご家族の方や地域の方がなど十名が参加しました。ご利用者の近況報告が行われたあと、「熱が出たらどうしま

すか」をテーマに意見を交換しました。熱発の原因となる症例などをいくつか紹介したあと、今後の入居者の生活を支えていくことを確認しました。